



## A 水辺の復興・みらい館

石巻市中瀬地内

東日本大震災で被災した旧北上川の復旧復興の歩みや、かわまちづくり、堤防復旧工事の状況など、国土交通省北上川下流河川事務所の水辺整備の取り組みを知ることができる広報施設です。

スタンプラリー開催期間中はスタッフが常駐。北上川改修についてより深く知ることができます。



《押印可能時間/9:30~16:00》



## D 旧北上川分流施設

北上川河川歴史公園

北上川の上流から流れてくる水量に応じて旧北上川に一定の水量を分流することで、洪水から下流(石巻市街地等)を守るために建設された現在も活躍している希少なゲート施設群です。ゲート施設群の完成により治水、利水が飛躍的に向上したことで沿川の開発が盛んになり、日本を代表する穀倉地帯が形成されました。

平成16年に日本土木学会推奨土木遺産に選定されています。



《押印可能時間/8:30~18:00》



## B 川村孫兵衛銅像(日和山公園)

石巻市日和が丘2丁目1番地内

川村孫兵衛重吉(1575-1648)は伊達政宗に見いだされ、北上川改修に従事し多大な成果をあげ、仙台藩の基礎を築いた功臣です。

北上川、迫川、江合川の堤防構築等により流路を統合し、洪水の抑制と安定化を図ることで、低湿地のの開発や宮城県内陸部と石巻間の舟運路のネットワーク化に貢献しました。



《押印可能時間/9:30~17:00》



## E 曲袋・相模土手(お鶴明神)

登米市中田町浅水上川面地内

北上川の改修を最初に手がけたのが登米寺池領主の伊達宗直(1577-1629)です。北上川沿線の農地開墾のため、流路を湾曲させ二股川に合流させる相模土手堤防を完成させました。

お鶴明神は、当時堤防の決壊を防ぐ神の御りであるためと信じて、怒り鎮めるための身御供の御い物語が語りかれています。



《押印可能時間/8:30~18:00》



## C 縄張稲荷神社

石巻市千石町3番地内

川村孫兵衛重吉(1575-1648)が北上川を改修したさいに使用した、測量用の縄を納め「縄張大明神」として祭ったのが縄張稲荷神社の起源だといわれています。

毎年7月31日、8月1日に開催される石巻川開きまつりは、川村孫兵衛重吉への報恩感謝に由来しており、祭りのスタートに位置する重要な神社です。



《押印可能時間/8:30~18:00》



## F 登米懐古館

登米市寺池桜小路103番地9

登米町出身で名誉町民である渡辺政人氏の寄贈により、旧寺池城址後に建設された資料館です。館内には伊達家ゆかりの鎧や兜などの武具、絵画、彫刻などの工芸品を展示しています。

「伊達宗直と北上川展」を開催しています。



《押印可能時間/9:00~16:00》  
《入館料 大人200円ほか》



北上川改修をもっと詳しく知りたい場合は、水辺の復興・みらい館、登米懐古館へ

主催：(株)とよま振興公社/国土交通省北上川下流河川事務所  
共催：登米市教育委員会/(-)宮城県建設業協会石巻支部  
(-)宮城県建設業協会登米支部  
協力：河川協力団体とよま北上川かっぱの会

問合せ 水辺の復興・みらい館(石巻市中瀬地内〔石森萬画館隣〕)  
北上川下流河川事務所 調査課 Tel.0225-94-9847